

大津市議会議長
仲野 弘子 様

平成 29 年 7 月 20 日

大津市議会 志成会
谷 祐治

大津市議会・草津市議会 広域景観連携推進に向けた会議体の設置について

大津市議会と草津市議会のさらなる連携に向け、下記会議体の設置を提案いたします。

記

大津市・草津市においては、平成 25 年 11 月にびわこ大津草津景観推進協議会を設立して以降、平成 27 年 12 月に両市市議会の議決を経て、平成 28 年度からは地方自治法上の法定協議会として、琵琶湖や東海道でつながる広域景観の保全と創造に取り組んでいる。

大津市議会においても、鷺見達夫前議長の議長マニフェストに基づく取り組みとして、平成 28 年 8 月に「広域連携キックオフ講演会」を開催し、同志社大学 新川達郎教授から「地方議会の広域連携の意義」と題して、また、大津市歴史博物館 横谷賢一郎学芸員から「大津・草津 湖岸の景観力」と題して、それぞれ講演をいただき、地方議会における広域連携の意義や必要性などについて共通理解を深めるとともに、両市は魅力ある歴史的景観を共有する関係にあることについて、認識を新たにしてきたところである。

今年度、仲野弘子議長の議長マニフェストにおいては、連携を深めるための持続可能な仕組みづくりの一環として、両市市議会の議員からなる会議体の設置に向けた提案が行われたところであり、景観法に定められた景観協議会への移行に向けた課題解決に向けた取り組みを進めること等が役割として期待されることから、(仮称) 大津市議会・草津市議会連携推進会議の設置を提案いたします。なお、委員構成については、草津市議会側からの参加見込み人数を踏まえ、大津市議会側からは、5 名程度を想定しております。